

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンターフェニックス（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しく安心して通所しており、保護者からも満足してもらえている。	子どもの心に寄り添い、チームとして子どもと保護者を安定して支えるよう職員同士で意見交換している。 子どもの小さな変化に気づき、困った時には保護者とともに考えたり成長を喜べる情報交換を行っている。	子ども・保護者と今後も密にコミュニケーションをとり、子どもには楽しみに通所できる活動内容を充実させる。保護者にも安心してもらえるよう子どもの成長を情報伝達する。
2	活動の様子や行事予定、情報について、施設だより、連絡帳等を通じて伝達できている。	連絡帳に活動の様子を記載するとともに、送迎時に保護者に伝達している。 事業所だよりは行事の様子を掲載し、取り組みがわかるように写真を掲載している。	避難訓練の実施をわからないと回答した保護者がおり、伝達力を向上して、よりわかりやすく作成する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の人や子ども、児童デイサービス以外の人と交流する機会が少なく感じられている。	地域の人を招く法人での行事であるフェニックスまつりに、ご利用者の卒業後の姿を考えられるよう卒業生も招き、話を聞ける機会を提供しているが認知されていない。 外出行事で公園に行く機会を設けたが、交流として認知されていない。	地域の人との交流が持てるよう外出活動を増やす。 外出や児童デイサービス以外の人と交流した際は様子を詳しく家族に伝達する。
2	保護者同士や兄弟を交えての活動機会が少なく感じられている。	「ぐんぐんの会」と称した家族参加の活動を実施したが、参加できなかった家族がいた。	今後も活動の機会を持ち参加の呼びかけを行い、多くの家族が参加できるようにする。